

雪遊び楽しいね

広場から積もった雪を見て、「雪いっぱい積もった!」「何しようかな」「大きい雪だるま作りたい」と雪遊びを楽しみにする子どもたち。実際に外に出ると、「雪、沢山だ」寝転がって、「人の形になった」と雪遊びを楽しんでいました。

滑るの楽しいよ



築山に積もった雪で、「ここ滑るんだよ」「ゴロゴロするの楽しいよ」と尻滑りをしたり、転がったりして楽しんでいました。滑る友だちと、山に登っていく友だちがぶつかりそうになると、「タイヤの方から登るんだよ」と子どもたち同士で声を掛け合う姿がありました。

外に行く前から、「雪だるま大きい作りたい」と話していた友だちは、雪がくっつかず「なかなか大きくならない」と言いながらも友だちと一緒に雪だるま作りを楽しんでいます。日によって、雪質が異なるため大きい雪だるまが完成すると、「できた!!大きい作ったんだよ」とできたことを自慢げに教えてくれました。また、節分にちなんで角を付けて鬼だるまを作っていました。

「先生、イス作りたいなあ」と話すと、近くにいた女の子たちが「いいよ、一緒に作ろう」と雪を集め始めました。「ここに、テーブルを作って、家も作ったらねずみのお家みたいじゃない?」と想像を膨らませて何が作れるか考えるのでした。「やっぱり、大きいかまくらがいい!!」「先生が入れるくらい、大きくしたい」と最終的にかまくら作りを始めました。ある程度の大きさになると、「小さい組さんなら、入れるんじゃない?」と近くにいた小さい組さんに、入ってもらっていました。「私たちは、大きいからもう少し大きくしないのかな」と言いながら入ったり、掘ったりをくり返しながらかまくら作りを楽しんでいます。イメージしたものを雪で作って、表現している姿が多く見られます。イメージを形にすることは難しいですが、色々な表現ができるよう見守っていきたいです。

また、1, 2歳児は「手袋要らない」と手袋をつけずに外に出ることも多く、雪の冷たさや感触をダイレクトに味わって楽しんでいます。以上児の作る雪だるまやかまくら作りに、一緒に遊んだりゴロンと寝そべって体全体で雪を感じています。冬ならではの遊びであるので、寒さに負けず戸外遊びを楽しんでいきたいです。

大きい雪だるま作るんだ

